

南阿蘇で栽培されたハーブを使った
化粧品 quantity 産化事業

南阿蘇オーガニック 株式会社 (旧:美緑こふれ株式会社)

事業者の概要

企業名 南阿蘇オーガニック株式会社
 代表者名 代表取締役 小松丸 昌子
 設立 平成27年7月(創業平成22年7月)
 住所 熊本県阿蘇郡南阿蘇村河陰2854
 資本金 400万円
 従業員数 5人

業種 食料品、化粧品製造業
 TEL 0967-67-3118
 FAX 0967-67-3127
 URL <http://www.miryoku-aso.co.jp>
 E-mail koma@miryoku-aso.co.jp
 担当者名 小松丸 昌子

事業内容・経緯

南阿蘇で農薬や化学肥料を一切使用せずにハーブを栽培しており、そのオーガニックハーブを使用した美容液、美容クリームなどの化粧品やハーブティーなどを製造している。これまで手作業で製造していたため、大量生産することが難しかった。また、化学物質を使用しないことにこだわっていることから、乳化剤を使用しておらず、水と油を混ぜ合わせる乳化を化学薬品を使わずに行うのが難しい現状があった。

そこで手作業での製造から機械での量産に切り替えることで生産コスト削減を図り、品質面の向上を図るためにもものづくり補助金を活用し、ハーブ洗浄装置と搾油機、SPG透過膜乳化装置、低温乾燥機、蒸留装置、定量充填機、粉碎機を導入した。これらを基に道の駅南阿蘇内に製造工場を置いて、製造ラインを作り、量産化に向けた取り組みを行った。

事業の成果

機械導入によって製造ラインが完成したことにより、量産化に向けた体制が整い、効率化によって生産コストも低減することができた。無農薬でハーブを作っているため、これまでは虫の卵の除去が難しかったが、ハーブ洗浄装置によって容易になったほか、SPG透過膜乳化装置により乳化剤を使用せずに水と油が容易に混合できるようになったことで、化粧品の品質が向上した。特に美容クリームに関しては、滑らかさが大幅に増して、使用感の向上につながった。また、機械製造が可能になったことで安定した品質で、これまでの約2倍の生産が可能となった。さらに、粉碎機はビタミンCなどの有効成分が破壊されないという40℃以下でできるため、商品の付加価値向上につながった。

試験稼働を経て、11月からは正式に稼働している。工場内には直売所もオープンしており、道の駅南阿蘇を訪れる観光客らに南阿蘇の産品を原料にした化粧品やハーブティーなどを発信している。

今後の展望

安定した品質での生産体制が整ったことで、今後はOEM生産の受注などの増加も期待される。また、昨年オーガニック認証を受けていることが追い風になっており、商標登録した「阿蘇オーガニックハーブ」を高付加価値の商品として、健康アンテナの高い消費者向けのブランドとして広げていきたい。

また、今回の事業を通して、野菜や果物の絞りかすを使って、蒸留器でエキスを抽出することで化粧品に、その余りを粉碎・乾燥することで食品・入浴剤などに加工することもできることがわかったので、生産したものを無駄なく使いきれそうなコラボレーションなども模索していきたい。

現在、「南阿蘇オーガニック生産組合」設立に向けて準備を進めており、ホームページなどで南阿蘇の産品を広めながらファンを獲得していくことを考えている。製造工場には勉強会や体験教室を行うことができるスペースも作っており、安心安全について考える場にしていきたい。



▲製造工場で作った化粧品やハーブティーなどの商品



▲オーガニック認証を受けた自社農場でハーブを栽培している



▲今回導入した乳化剤なしで水と油を混合できるSPG透過膜乳化装置



▲道の駅南阿蘇内にある製造工場